

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 3 月 2 日 (2017.3.2)

【公表番号】特表 2016-504134 (P2016-504134A)

【公表日】平成 28 年 2 月 12 日 (2016.2.12)

【年通号数】公開・登録公報 2016-010

【出願番号】特願 2015-554182 (P2015-554182)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/24

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 26 日 (2017.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

心臓（12）内の天然弁膜の機能代行、および／または、一時的支援に用いる短期置換用の、移植可能で除去可能な非留置型弁（502）であって、当該弁（502）は、移植されると、前記天然弁膜を介して位置決めされるよう構成されており、当該弁（502）は、

少なくとも一部において折り畳み可能、および／または、少なくとも一部において拡張可能なチューブ（602）と、

当該非留置型弁を天然弁膜に一時的に固定するための、前記チューブのインレット側に位置決めされたフランジ（604）と

を備え、

当該弁は、一方向弁であると共に、前記チューブのインレット側に取付けられ且つ前記チューブ内に配置される可撓性内側スリーブを更に備える、ことを特徴とする弁。

【請求項 2】

前記チューブは可撓性を有する、請求項 1に記載の弁。

【請求項 3】

前記チューブは剛性を有する、請求項 1に記載の弁。

【請求項 4】

腱索を前記弁の方向に捕捉かつ配設するための捕捉部を更に備えており、
腱索を前記弁の方向に捕捉かつ配設することによって、前記弁は、所望の位置で、固定、保持および／または安定化される、請求項 1～3のいずれか一項に記載の弁。

【請求項 5】

弁尖を前記弁の方向に捕捉かつ配設するための捕捉部を更に備えており、
弁尖を前記弁の方向に捕捉かつ配設することによって、前記弁は、所望の位置で、固定、保持および／または安定化される、請求項 1～4のいずれか一項に記載の弁。

【請求項 6】

前記捕捉部は、アーム、フック、リング、および／または、流体を充填したバルーンを備える、請求項 4 又は 5に記載の弁。

【請求項 7】

前記捕捉部はクリップを備えており、前記腱索および／または前記弁尖は、前記クリッ

ブによって、前記弁の方向に所定位置で維持される、請求項 4 ～ 7のいずれか一項に記載の弁。

【請求項 8】

前記クリップは螺旋状をなしている、請求項 7に記載の弁。

【請求項 9】

前記捕捉部は、前記弁の回転時に、前記腱索および／または前記弁尖を捕捉かつ配設し、前記回転は、好ましくは、反時計回りの回転である、請求項 4 ～ 8のいずれか一項に記載の弁。

【請求項 10】

前記弁は、カテーテルを回転させることで回転駆動される、請求項 9に記載の弁。

【請求項 11】

前記弁は、送達に際して折り畳み可能、および／または、送達時に拡張可能である、請求項 1 ～ 10のいずれか一項に記載の弁。

【請求項 12】

前記天然弁膜は僧帽弁である、請求項 1 ～ 11のいずれか一項に記載の弁。

【請求項 13】

心拍動下心臓手術および／または医療介入における、請求項 1 ～ 12のいずれか一項に記載の弁の使用。

【請求項 14】

救命介入、前記弁尖および／または前記腱索の急性破裂に対する医療介入における、請求項 1 ～ 13のいずれか一項に記載の弁の使用。